

# 検案体制の構築及び 警察協力医委員会の設置について

福岡県医師会  
常任理事 大木 實



## 「警察活動に協力する医師の部会」 の都道府県医師会への設置

平成26年2月14日

日本医師会より、「警察活動に協力する医師の部会」の都道府県医師会への設置について依頼

「警察活動に協力する医師」とは

警察の検視への立会いや遺族の求めに応じて  
検案を行う医師



## 部会の設置経緯

- 従来、警察の検視等に立ち会う医師の全国的な組織としては、日本警察医会が活動を行ってきた。
- しかし、同会に加入しているのは47都道府県中20県程度。
- 一方で、阪神淡路大震災、東日本大震災等における教訓から、検視立会い、検案を担う医師の全国的な組織および連絡網の整備は喫緊の課題とされていた。



---

## 部会の設置経緯

平成26年3月

日本警察医会が発展的解散

これを受けて、日本医師会では新たに、警察に協力する医師の全国組織を医師会主導のもと構築することとした。



## 部会の趣旨

警察に協力して検視の立会い、遺族の求めによる検案等をおこなう医師を、日本医師会、都道府県医師会、郡市医師会を中心に全国的に組織し、相互の連携強化および研修体制の充実による質の確保・向上を図る。

組織的な対応、取り組みを進めることにより、検視立会い・検案業務についての、業務内容、待遇・身分保障、人材確保、人材育成等の問題を、医師会および関係機関、団体等との間で共有化し、問題の改善と全国的な均質化をめざす。



---

## 福岡県の警察協力医について

### ○福岡県警察医会

福岡県では昭和60年に福岡県警察医会が設立しており、現在でも、精力的に活動を行っていただいている。

現在の会員は、50名

福岡県内の警察署は35カ所

(北九州地区10カ所・福岡地区14カ所・筑豊4カ所・筑後7カ所)

※中には、医会に所属されずに警察活動に協力されている医師もいる



# 福岡県の警察協力医について

## 【今後の福岡県における課題】

- ①警察協力医の高齢化
- ②若手医師のなり手がおらず人手不足
- ③報酬が低く、ほぼボランティア
- ④診察中・夜間・休日にも呼び出しがあり、負担が大きい
- ⑤各警察署担当者からの直接の依頼で、とりまとめがない



---

## 福岡県医師会の今後の対応

- ①福岡県医師会警察協力医委員会を設置
- ②検視・検案技術の向上および人材の確保を目的とした研修会を開催する
- ③県内警察協力医のとりまとめを行い、リスト化
- ④警察協力医として、業務可能な医師のリストをもとに県警と連携を強化



# 各医師会へのお願い

## ①検案担当理事の設置

---

## ②本会が作成する警察協力医リストをもとに管内警察署との連携強化

まずは、①検案担当理事の設置をお願いさせていただきたい。

